

<領域：人間と社会>

【人間の尊厳と自立】

問題1 糸賀一雄の「この子らを世の光に」という思想に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 経済的に生活できる社会的自立を保障する。
- 2 人間の発達を保障する。
- 3 困窮状態に応じて最低限度の生活を保障する。
- 4 障害者の職業の安定を図ることを保障する。
- 5 自由を制限する身体拘束の禁止を保障する。

問題2 Aさん(82歳、女性)は、アルバイト店員の息子(56歳)と二人暮らしである。Aさんは、3年前にアルツハイマー型認知症と診断された。現在、要介護2と認定されて訪問介護(ホームヘルプサービス)と通所介護(デイサービス)を支給限度額まで利用している。Aさんは、身の回りのことに常に見守りや介助が必要であり、一人で外出して道が分からなくなり、何度も警察に保護されている。

訪問介護事業所が、アドボカシーの視点からAさんと息子を支援する場合の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分の食事も作ってほしいという息子の要望に、対応できないと断る。
- 2 息子の外出時は、Aさんが部屋から出られないように施錠することを提案する。
- 3 Aさんと息子に相談の上、社会福祉協議会に見守りボランティアの派遣を働きかける。
- 4 息子に、市内に認知症家族の会があることを知らせる。
- 5 町内会に、回覧板でAさんと息子の状況を詳しく知らせるように働きかける。

【人間関係とコミュニケーション】

問題3 共感的態度に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者に対して審判的態度で関わる。
- 2 利用者の感情をその人の立場になって理解して関わる。
- 3 利用者と自分の感情を区別せず、同調して関わる。
- 4 利用者の感情に共鳴して、同情的に関わる。
- 5 利用者が示す否定的な感情は避けて関わる。

問題4 Bさんは、パーキンソン病で、要介護3である。車いすを使用しているが、自分では移動できない。声が小さく聞き取りにくい。難聴はない。食堂にいたBさんが10mほど離れた窓の方向を指さして何か言ったが、少し離れた場所にいた介護福祉職には聞こえなかった。

そのときの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Bさんのそばに行き、何も言わずにBさんの口元に耳を近づける。
- 2 Bさんのそばに行き、もう一度話すように依頼する。
- 3 その場所からBさんに、大きな声で話すように促す。
- 4 その場所からBさんに、聞こえないと伝える。
- 5 Bさんを窓のところに案内する。

【社会の理解】

問題5 地方自治法に基づく法的な権利のうち、市町村の区域内に住所があれば日本国民でなくても有する権利として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 市町村からサービスを受ける権利
- 2 市町村の選挙に参加する権利
- 3 市町村の条例の制定を請求する権利
- 4 市町村の事務の監査を請求する権利
- 5 市町村議会の解散を請求する権利

問題6 日本の人口に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「人口推計」によれば、2011年(平成23年)以降、毎年10月1日現在の総人口は減少してきている。
- 2 現在の人口置換水準は、合計特殊出生率1.80である。
- 3 合計特殊出生率の低下の主な原因として、若い女性の海外転出がある。
- 4 2000年(平成12年)に高齢社会になった。
- 5 2015年(平成27年)に団塊の世代が後期高齢者になった。

問題7 市町村国民健康保険の被保険者に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日本国籍があれば、住所がなくても被保険者になる。
- 2 被保険者証の返還を求められた世帯主は、民生委員に当該被保険者証を返還しなければならない。
- 3 世帯主は、世帯主以外の世帯員の被保険者証の交付を求めることはできない。
- 4 健康保険法の被保険者であった者が被保険者になることはない。
- 5 生活保護の受給者(停止中のものを除く)は、被保険者になることはない。

問題8 2015年(平成27年)に施行された介護保険制度の改正内容として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 低所得者の保険料負担を引き上げた
- 2 介護老人福祉施設の新規入所者を原則として要介護3以上の者にした。
- 3 予防給付の訪問介護(ホームヘルプサービス)・通所介護(デイサービス)を都道府県が実施する事業に移行した。
- 4 施設利用者の食費・居住費を補う補足給付の対象者を拡大した。
- 5 一定以上の所得のある利用者の自己負担割合を3割に引き上げた。

問題9 介護保険法における保険者として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 全国健康保険組合
- 2 年金保険者
- 3 国
- 4 都道府県
- 5 市町村及び特別区

問題10 介護サービスの利用契約に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が認知症のため、別居している娘に契約内容を電話で説明して、サービス利用契約について同意を得た。
- 2 利用者と家族に重要事項説明書を渡して、サービス内容を説明し、同意を得て、利用者との契約書を取り交わした。
- 3 利用者と契約書を取り交わした後で、サービスや職員配置を記載した重要事項説明書を渡して、提供するサービスの内容を説明した。
- 4 利用者が高齢なので、別居している娘に重要事項説明書と契約書を送付し、返信用封筒も入れて、返送を依頼した。
- 5 利用者が認知症で理解が困難と思われたので、利用者と仲の良い隣人に説明して、契約書を書いてもらった。

問題11 障害者基本法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者は、自助努力によって社会的障壁を解消しなければならない。
- 2 政府は、「障害者基本計画」を策定しなければならない。
- 3 都道府県は、障害者政策委員会を設置しなければならない。
- 4 「障害者差別解消法」の制定に伴って、差別の禁止に関する条文は削除された。
- 5 基本的施策に防災及び防犯に関する記述はない。

問題12 Cさん(50歳、女性)は、身体障害者手帳2級を所持している。最近、日常の家事が十分にできなくなったので、「障害者総合支援法」に基づく居宅介護を利用したいと考えて、知り合いの介護福祉士に尋ねた。

介護福祉士の対応に関する次に記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 身体障害者更生相談所で医学的判定を受けなければならないことを説明する。
- 2 障害支援区分の認定を受ける必要があることを説明する。
- 3 すぐに居宅介護事業所とサービスの利用契約書を取り交わすように説明する。
- 4 医師の意見書を持って相談支援事業所に行くように説明する。
- 5 Cさんのサービス利用の希望を介護支援専門員(ケアマネジャー)に伝えておくと説明する。

問題13 指定障害福祉サービス事業者に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 指定障害福祉サービス事業者の指定は、厚生労働大臣が行う。
- 2 指定障害福祉サービス事業所に配置する人員の基準は、事業者の事情に応じて各事業者が決めることができる。
- 3 指定障害福祉サービス事業者は、サービスの質の評価を行い、サービスの質の向上に努めなければならない。
- 4 指定障害福祉サービス事業者の指定に有効期間は設定されていない。
- 5 指定障害福祉サービス事業者は、事業所を運営している市町村内での広告が義務づけられている。

問題14 知的障害のあるDさん(40歳、男性)は、就労移行支援事業所を利用して、現在U株式会社に勤務している。ある時、就労移行支援事業所に勤務するE介護福祉職は、Dさんから、職場で上司から虐待を受けているという相談を受けた。

E介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 我慢して職場を辞めないように助言した。
- 2 警察に通報した。
- 3 地域包括支援センターに報告した。
- 4 Dさんの勤務先がある市町村に通報した。
- 5 U株式会社に出向いて、虐待をやめるように申し入れた。

問題15 医療法上の医療提供施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 病院は、20人以上の入院施設がなくてはならない。
- 2 歯科を診療科目とする病院を開設することはできない。
- 3 診療所は、29人以下の入院施設がなくてはならない。
- 4 調剤を実施する薬局は、医療法上の医療提供施設ではない。
- 5 介護老人保健施設とは、療養病床を有する病院のことをいう。

問題16 生活保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 生活保護で保障される最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準を維持することができるものでなくてはならない。
- 2 生活保護は、利用しているサービス事業所の担当者が本人に代わって申請することができる。
- 3 生活保護は、世帯を分離して実施することはできない。
- 4 自分の家や車を所有している人は、全て生活保護の対象とはならない。
- 5 年金や稼働収入がある高齢者は、全て生活保護の対象とはならない。

<領域:介護>

【介護の基本】

- 問題17 2013年(平成25年)の「国民生活基礎調査」(厚生労働省)に関する次の記述のうち、2004年(平成16年)と2013年(平成25年)の65歳以上の者のいる世帯について、正しいものを1つ選びなさい。
- 1 65歳以上の者のいる世帯は、どちらも全世帯の6割を超えている。
 - 2 「親と未婚の子のみの世帯」は、2013年(平成25年)は2004年(平成16年)に比べて減少している。
 - 3 「夫婦みの世帯」は、2013年(平成25年)は2004年(平成16年)に比べて減少している。
 - 4 「単独世帯」は、2013年(平成25年)は2004年(平成16年)に比べて増加している。
 - 5 「三世帯世帯」はどちらも65歳以上の者のいる世帯の3割を超えている。
- 問題18 社会福祉士及び介護福祉士法に基づいて、介護福祉士に課せられている誠実義務に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 常に担当する利用者の立場に立って業務を行う。
 - 2 国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。
 - 3 利用者を心身共に健やかに育成する責任を負う。
 - 4 利用者の心身の健康の保持のために必要な措置を講じる。
 - 5 利用者が安心して暮らすことのできる地域社会に実現に寄与する。
- 問題19 Fさんは(82歳、男性)は、脳梗塞の後遺症による右片麻痺と運動性失語の状態、介護老人福祉施設へ入所した。自分の意思は、顔の表情やうなずきなどの動作や左手を使って伝えることができる。2時間ほどは車いすで座位を保つことができる。
食事の際は、自分でご飯やおかずをスプーンに乗せたり汁物を口に運ぶことは困難であるが、スプーンに載った食べ物を口まで運んで食べることはできる。
食事場面における介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 食事を居室のベッドの上でとるように促す。
 - 2 メニューの説明は不要である。
 - 3 左手で食べたいものを示すように促す。
 - 4 ご飯とおかずを混ぜてスプーンに乗せて口に運ぶ。
 - 5 好みの食べ物は最後に食べるように促す。
- 問題20 利用者の自己決定に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 支援者は、利用者の自己決定に対する働きかけを行ってはならない。
 - 2 援助を受けている利用者は、自己決定を行うことができない。
 - 3 判断の力が低い利用者の場合、家族の意向を優先して決定する。
 - 4 利用者はエンパワメントアプローチをされることで、自己決定能力が高まる。
 - 5 自己決定には、責任能力の有無が条件となる。
- 問題21 リハビリテーションの理念を表す用語として、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 機能回復訓練
 - 2 就労移行支援
 - 3 全人間的復権
 - 4 地域定着支援
 - 5 特別支援教育

問題22 利用者がその人らしい生活を実現できるように、介護福祉職が把握すべき情報として、最も優先順位が高いものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の所有する不動産の種類や価値
- 2 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの得点
- 3 既往症
- 4 最近1年間の体重変化
- 5 これまでの生活環境と生活習慣

問題23 障害者の年金、手当、扶助に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害基礎年金の障害等級は、1級と2級がある。
- 2 障害基礎年金と老齢厚生年金は、併給できない。
- 3 障害基礎年金は、全額が生活保護の収入認定の対象外となる。
- 4 特別障害者手当は、市町村の条例によって実施される。
- 5 2013年(平成25年)の生活保護基準の見直しに伴って、障害者加算が廃止された。

問題24 通所介護(デイサービス)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 事業者による非常災害対策訓練の実施は、任意である。
- 2 事業者は、正当な理由なくサービスの提供を拒んではならない。
- 3 サービスの内容等を記載した通所介護計画の作成は、任意である。
- 4 短期入所生活介護と訪問介護(ホームヘルプサービス)を組み合わせなければならない。
- 5 日常生活の自立を助けるために、専門職による理学療法や作業療法を行わなければならない。

問題25 サービス担当者会議に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サービス提供者の実践力の向上を主な目的とする。
- 2 利用者とその家族の参加を基本とする。
- 3 市町村社会福祉協議会が主催する。
- 4 市町村の会議室で開催することが望ましい。
- 5 利用者を匿名にして議論する。

問題26 介護老人福祉施設に入所後、すぐ退所したいと訴える利用者への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 精神安定を図るために、利用者に精神安定剤を服用してもらう。
- 2 利用者の思いを最優先に考えて、退所の手続きをする。
- 3 利用者に退所を思い直してもらうために、家族には介護する意思がないと伝える。
- 4 利用者の今の思いを受けとめて、その発言の背景を確認する。
- 5 気分を変えてもらうために、利用者をテレビの前に案内する。

問題27 施設での介護のあり方に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の羞恥心に配慮した介護を行う。
- 2 親しみを込めて、利用者を愛称で呼ぶ。
- 3 多床室では、介護福祉職の目が行き届くように、カーテンは開けておく。
- 4 入室するときは、日常的なことなので、ノックや声かけをしなくてもよい。
- 5 医師から利用者に関する情報の提供を求められても、それがどんな理由であっても応じないようにする。

問題28 次のマークが示す内容として、正しいものを1つ選びなさい。



- 1 国に登録された第三者機関によって、品質が保証された製品である。
- 2 身体拘束ゼロに役立つ製品である。
- 3 介護福祉士が医療的ケアを行うための製品である。
- 4 介護保険制度において、利用者の経済的負担がない製品である。
- 5 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業で、普及啓発の対象となる製品である。

問題29 リスクマネジメントに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 細心の準備をすれば、事故は起こらない。
- 2 小さな介護事故は、個人で対応する。
- 3 介護事故の報告を済ませたら、その後の対応は組織の代表者に一任すればよい。
- 4 介護業務に慣れると事故は起こらない。
- 5 ヒヤリ・ハット事例の収集・分析が、事故を防ぐことにつながる。

問題30 感染対策に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 下痢・嘔吐が続く介護福祉職は、マスクをして業務を行う。
- 2 汚れが目に見える場所を消毒することが、感染症予防に有効である。
- 3 モップを使う床掃除の場合は、乾いたモップで汚れを拭き取る。
- 4 手袋を着用していれば、排泄物や嘔吐物を触った後の手洗いを省略してもよい。
- 5 固形石鹼よりも液体石鹼の方が望ましい。

問題31 労働安全衛生法に定められている内容に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働災害の防止に関する措置への労働者の協力
- 2 労働者の介護休業
- 3 女性労働者の婚姻、妊娠、出産を理由とする不利益取扱いの禁止
- 4 常時20名以上の労働者を使用する事業場の衛生委員会の設置
- 5 労働者の1日の法定労働時間

問題32 ストレスマネジメントに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 仕事に没頭することでストレスを忘れるようにする。
- 2 自分はストレスを感じることはない考える。
- 3 悩みは他人に相談せずに、自分で解決しようとする。
- 4 困難な現実からは目をそらして、自己を正当化する。
- 5 自分に合った適切な対処法を持つ。

【コミュニケーション技術】

問題33 傾聴の技法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 最初に客観的事実を確認してから聴く。
- 2 相手の言葉を妨げないで、じっくり聴く。
- 3 相手の目をじっと見つめながら聴く。
- 4 早い動きでうなずきながら聴く。
- 5 解決策を提案しながら聴く。

問題34 Gさん(70歳, 男性)は、双極性感情障害があり、入退院を何度も繰り返してきた。最近、様々な考えが付きながりもなく浮かんで多弁になる躁状態になり、訪問介護(ホームヘルプサービス)に来たH介護福祉職にも次々に話しかけてきた。

このときのH介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「一度にいろいろ話すのはやめてください」
- 2 「また入院することになりますね」
- 3 「いつもより気分が高ぶっていますよ」
- 4 「私にはよく分かりませんが…」
- 5 「もっとお話を聞かせてください」

問題35 Jさん(82歳, 女性)は、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)で暮らしている。Jさんは朝食を済ませていたが、また朝食の準備を始めた。他の利用者が「さっき食べたでしょう」と言うと、Jさんは「まだです。今起きたばかりです」と答えた。

このときのJさんに対する介護福祉職の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「おなかがすきましたか」
- 2 「さっき、食べたばかりですよ」
- 3 「後片づけまで終わりましたよ」
- 4 「もう1回食べるのですか」
- 5 「食事より掃除をしませんか」

問題36 Kさん(72歳, 女性)は、アルツハイマー型認知症である。認知症対応型共同生活介護(グループホーム)で暮らしているが、いつも「夫に迷惑をかけて申し訳ない」と言っている。ある日、面会に来た夫に対して、「いつもお世話様です」と挨拶しながら、誰なのか分からないで不安そうな様子であった。

Kさんへの介護福祉職の最初の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「誰でしょうか、覚えていますか」
- 2 「顔は覚えているけど、名前を忘れたのですね」
- 3 「頑張って思い出してみましょ」
- 4 「ご主人ですよ。来てもらってよかったですね」
- 5 「迷惑をかけて申し訳ないと伝えましょ」

問題37 Lさん(70歳, 男性)は、脳梗塞の後遺症で聴覚的理解と視覚的理解の障害があるが、発語はできる。日常会話で使用する単語は理解できるが、うまくコミュニケーションをとれないことが多い。介護福祉職が「あしたは晴れですね。あしたの午後散歩に行きましょう」と伝えると、Lさんは話の内容が分からない様子である。

Lさんが理解できるような関わり方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 もう一度、低い声で同じ言葉を伝える。
- 2 もう一度、大きな声で同じ言葉を伝える。
- 3 「あした、散歩」と短い言葉で伝える。
- 4 「あした、さんぽ」とひらがなで書いて伝える。
- 5 言葉を1音ずつに区切って、「あ・し・た・さ・ん・ぽ」と伝える。

問題38 Mさん(72歳, 女性)は, 介護老人保健施設に入所している。糖尿病性網膜症で, 3か月前に右目を失明した。左目はかすかに見える状態である。聴覚機能, 言語機能, 認知機能に問題はない。Mさんへの介護福祉職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Mさんの右側から話しかける。
- 2 Mさんの体に触れてから挨拶をする。
- 3 物音を立てないように関わる。
- 4 「あそこ」「これ」と代名詞で説明する。
- 5 視覚情報は整理して口頭で伝える。

問題39 箱型補聴器を使用する利用者と介護福祉職のコミュニケーションに関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職は, イヤホンを装着した耳に向かって話しかける。
- 2 介護福祉職は, できるだけ大声で話す。
- 3 利用者は, 比較的聞こえる側の耳にイヤホンを装着する。
- 4 利用者は, 箱型補聴器を会話のときに限って使用する。
- 5 利用者は, 雑音の多い場所では箱型補聴器の音量を上げる。

問題40 介護記録に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職の意見を中心に記録する。
- 2 調査・研究目的で記録を利用することは避ける。
- 3 記録は非言語的コミュニケーションのツールとして活用する。
- 4 利用者と家族は記録を閲覧することができる。
- 5 介護保険法では記録の様式を統一している。

【生活支援技術】

問題41 生活支援に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 支援者の価値観を優先して支援する。
- 2 生活全体よりも, 生活動作を中心にした視点で支援する。
- 3 その人らしい生活よりも, 安静を重視した生活を送れるように支援する。
- 4 利用者の生活習慣よりも, 支援者側の規則を大切に支援する。
- 5 信頼関係に基づいて支援する。

問題42 施設への入所に伴う高齢者の心身の負担を軽減するための方策として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族の訪問を控えてもらう。
- 2 居室に新しい家具を入れる。
- 3 広い食堂で過ごしてもらう。
- 4 施設の生活時間に合わせてもらう。
- 5 少しでも早くなじみの職員ができるようにする。

問題43 布団について, ダニの死骸や糞などのダニアレルゲンを除去する方法として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 陰干しする。
- 2 掃除機で吸い取る。
- 3 強く叩く。
- 4 表面を絞ったタオルで拭く。
- 5 布団カバーを取り替える。

問題44 高齢者の整容支援の注意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 整髪料の使用は避ける。
- 2 目やにを拭き取るときは、目尻から目頭に向かって拭く。
- 3 爪を切るときは、少しずつ切る。
- 4 耳垢(耳あか)が固いときは、ピンセットを使って除去する。
- 5 義歯は乾燥させてからケースに保管する。

問題45 介護を必要とする高齢者の衣服と、その支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 片麻痺の高齢者には、支援者が着脱させやすい前あきの上着の購入を勧める。
- 2 左片麻痺がある場合は、左半身から脱ぐように勧める。
- 3 生活のリズムを保つために、昼と夜とで衣服を替えるように勧める。
- 4 衣服は気候に合わせて支援者が選ぶ。
- 5 季節に関係なく、保温性よりも通気性を重視した衣類を勧める。

問題46 視覚障害者の外出支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 タクシーに乗るときは、支援者が先に乗って誘導する。
- 2 電車を待つときは、点字ブロックの上で待つように誘導する。
- 3 狭い通路は、後ろから誘導する。
- 4 雨の日は、フードつきのレインコートの着用を勧める。
- 5 利用者から一時離れるときは、柱や壁に触れる位置まで誘導する。

問題47 パーキンソン病の姿勢反射障害のある人の歩行介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 曲がり角では、勢いをつけて曲がってもらおう。
- 2 曲がり角では、直角に曲がってもらおう。
- 3 一度足を引いてから歩きだしてもらおう。
- 4 支援者のペースに合わせて歩きだしてもらおう。
- 5 階段よりスロープを歩いてもらおう。

問題48 嚥下機能の低下している人のおやつとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ラスク
- 2 もなか
- 3 焼き芋
- 4 カステラ
- 5 ゼリー

問題49 骨粗鬆症予防に必要なビタミンKを多く含む食品として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 牛乳
- 2 卵
- 3 豚肉
- 4 にしん
- 5 納豆

問題50 Aさん(78歳, 女性)は, 一人暮らしをしている。毎夕食の配食サービスと週2回の訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している。夏のある日, 訪問介護員(ホームヘルパー)が訪ねると, 唇が乾燥しており, 昨日からの水分摂取はお茶を3杯(450 ml 程度)ということであった。排尿回数も少なく, 尿の色を尋ねるといつもより濃いと言っていた。

Aさんに勧める飲物として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 温めた牛乳
- 2 冷たいお茶
- 3 バナナジュース
- 4 経口補水液
- 5 野菜ジュース

問題51 下肢筋力が低下して介護を必要とする人に適した浴室改修に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 浴室の入口は引き戸にする。
- 2 縦に長く浅めの洋式の浴槽にする。
- 3 浴槽の縁(エプロン部分)は厚みを20 cmにする。
- 4 床から浴槽の縁までの高さは20 cmにする。
- 5 浴室と脱衣室の段差は10 cmにする。

問題52 消化管ストーマを造設している人の入浴に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 排便のあった日だけ入浴する。
- 2 回腸ストーマの場合は, 食後1時間以内に入浴する。
- 3 装具を外して入浴できる。
- 4 ストーマ部分は, 石鹸をつけず, こすりながら洗う。
- 5 公衆浴場の利用は避ける。

問題53 入浴時のヒートショックに関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高血圧の人は, ヒートショックを起こしにくい。
- 2 ヒートショックは, 夏に起こりやすい。
- 3 ヒートショック予防として, 浴室・脱衣室と居室との温度差を小さくする。
- 4 ヒートショック予防として, 湯の温度設定は高めにする。
- 5 ヒートショックは, 入浴前に起こりやすい。

問題54 排泄介護に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ベッドで尿器を使用する場合, ベッドの足元を上げる。
- 2 差し込み便器の開口部の中央に, 仙骨が来るようにする。
- 3 テープ止めタイプの紙おむつの中に, 尿取りパッドを複数当てる。
- 4 自己導尿を行う場合, 座位姿勢で行えるように支援する。
- 5 トイレにL字手すりを設置する場合, 横手すりは車いすの座面の高さに合わせる。

問題55 Bさん(86歳, 女性)は, 介護老人福祉施設で生活している。脳梗塞の後遺症で左片麻痺があり, 最近筋力の低下が目立っている。Bさんは日中はポータブルトイレ, 夜間は紙おむつを使用している。Bさんの使用しているポータブルトイレは木製の背もたれと肘かけがついているタイプである。

Bさんが, ポータブルトイレを使用するときの排泄介護に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ポータブルトイレは, ベッドの左側の足元に置く。
- 2 ポータブルトイレの足元に新聞紙を敷く。
- 3 座位が安定しないときは, 背もたれに寄りかかるように座ってもらう。
- 4 排泄が終了したら, 立ち上がる前に下着やズボンを大腿部まで上げておく。
- 5 使用したポータブルトイレの中の排泄物は, 1日分をまとめて片づける。

問題56

悪質商法や詐欺の種類と介護福祉職が行う助言の組合せとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 催眠商法 友人と一緒に販売会場まで出かけても構わないと助言する。
- 2 送りつけ商法 注文した覚えのない商品は断り、受け取らないように助言する。
- 3 利殖商法 「元本保証」と「金融庁への届出」の記載があれば信頼できると助言する。
- 4 振り込め詐欺 公的機関や家族を名乗る電話には、一人で対処するように助言する。
- 5 点検商法 業者を家の中に入れて、ていねいに断るように助言する。

問題57

繊維製品に以下の表示があるときの取扱いの留意点として、適切なものを1つ選びなさい。

(注) いずれも家庭用品品質表示法に基づく洗濯に関する表示であり、同じ取扱い方法を意味している。左の表示は現行のものであり、2016年(平成28年)12月から右の表示に改正されることになっている。



- 1 しわになりやすいので、脱水は避ける。
- 2 色が落ちやすいので、単独で洗う。
- 3 手洗いする。
- 4 日陰のつり干しにする。
- 5 平干しにする。

問題58

Cさんは、関節リウマチが徐々に進行している。何とか自力で寝返りをすることができるが、思うように関節が動かなくなってきた。体調に変動があるため1日の過ごし方も不規則で昼夜逆転の生活が続いている。

Cさんが夜間、安眠が得られるような介護福祉職の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 早朝の散歩を勧める。
- 2 朝食は、とらないように勧める。
- 3 午後から、温水プールで運動をするように勧める。
- 4 マットレスは、柔らかいものを勧める。
- 5 枕は、硬く高いものを勧める。

問題59

終末期で食欲が低下してきた利用者の食事介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事の回数を増やす。
- 2 1回の食事量を増やす。
- 3 高カロリーのを食事を用意する。
- 4 嗜好を重視する。
- 5 経管栄養を勧める。

問題60

施設入所者の終末期から死後における家族への支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 付き添いやすい環境を整える。
- 2 在宅と比べて、家族への支援の必要性は乏しい。
- 3 状態が変化したときだけ家族に報告する。
- 4 家族が希望しても、死後の処置は職員で行う。
- 5 故人の思い出話は控える。

【介護過程】

問題61 介護過程の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 多職種がそれぞれ異なる最終目標を持つこと
- 2 1回限りの介護をすること
- 3 利用者のニーズに応じた根拠のある個別ケアをすること
- 4 家族が望む利用者の生活を実現すること
- 5 介護福祉職の業務の効率を優先すること

問題62 介護福祉職の情報収集に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 情報は、多角的・継続的に収集する。
- 2 収集した情報は、取捨選択せずに記録する。
- 3 主観的情報は、計測器を用いて収集する。
- 4 利用者が発した言葉は、介護福祉職の主観を加えて記録する。
- 5 プライバシーに関する情報は、集団面接で収集する。

問題63 「関連する情報の分析・統合を通じて、利用者の課題、ニーズ、強みを明らかにすること」を表す用語として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 チームアプローチ
- 2 アセスメント
- 3 モニタリング
- 4 アウトリーチ
- 5 インテーク

問題64 Dさん(70歳、女性)は、10年前に人工肛門(ストーマ)を造設し、2年前に脳出血を患って軽い右片麻痺が残った。最近、物忘れが目立ってきた。また、同居する娘の仕事が忙しくなってきた。Dさんに関する情報のうち、ICF(国際生活機能分類)の環境因子に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 70歳の女性である。
- 2 人工肛門(ストーマ)を造設した。
- 3 軽い右片麻痺が残った。
- 4 物忘れが目立ってきた。
- 5 娘の仕事が忙しくなってきた。

問題65 Eさんは、アルツハイマー型認知症で認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居している。今までできていた食後の歯磨きができなくなっている。口臭が強くなってきたので、他の利用者が会話を避けている。孫からも「おばあちゃんのお口臭い」と言われ、寂しそうな表情をしているのを介護福祉職が見ている。

優先的に解決すべきEさんの生活課題として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 他者と積極的に会話ができるようになること
- 2 寂しさを取り除くために介護福祉職が励ますこと
- 3 気を遣わずに孫と話ができるようになること
- 4 口の中を清潔に保てるようになること
- 5 一人で歯磨きができるようになること

問題66 客観的情報の記録として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 タンスの中に食べこぼしのついた上着が入っていた。
- 2 妻とけんかしたことを後悔しているのではないか。
- 3 ご飯が喉を通らないのは、愛犬がいなくなったからだと思う。
- 4 いつも冷静なのに突然怒ったのでびっくりした。
- 5 一人でいる時間が長いので、こまめに声かけをすることにした。

次の事例を読んで、問題 67、問題 68 について答えなさい。

〔事 例〕

Fさん(70歳、男性、要介護1)は、認知症を患う母と二人暮らしである。左片麻痺があり、杖があれば一人で歩行できる。現在は、小規模多機能型居宅介護を利用して在宅生活を送っている。昔から買物が好きで、今でも天気の良い日には、一人で杖をついて買物に出かけていく。

Fさんの小規模多機能型居宅介護における介護計画の長期目標は「安全に買物に出かける」、短期目標は「転倒しない」で、支援内容には「事業所内で手すりを使って起立訓練と歩行訓練を行う」と設定されて、順調に実施されている。

最近、近所の人から、Fさんがスーパーに向かう途中にある階段が上り切れず、よろけたり、困っている姿を見かけたという情報がたびたび聞かれるようになった。この件をG介護福祉職がFさんに確認すると、Fさんは「足元が少し不安なところがありますが、大丈夫です。いつもありがとうございます」と言い、目に涙を浮かべた。

問題67 Fさんの介護計画の評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 近所の人からの情報は、評価には不要である。
- 2 「安全に買物に出かける」という目標は達成した。
- 3 手すりを使った起立訓練と歩行訓練を見直す必要がある。
- 4 事業所内での訓練は順調なので、このまま継続する。
- 5 Fさんの発言から満足していると評価した。

問題68 Fさんの状況を受けて、関係職員が集まり、カンファレンスを開催することになった。このカンファレンスに参加したG介護福祉職の発言に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Fさんの日頃の移動の様子について、具体的に説明した。
- 2 Fさんが感情的になるので、気持ちは聞かないようにしていると説明した。
- 3 介護保険を使って通所リハビリテーションを併用することを提案した。
- 4 スーパーに向かうときの様子は多くの情報があるので、Fさんにはそれ以上尋ねる必要がないと説明した。
- 5 母親の支援について、話し合うことを提案した。